

# ITSとは ~ITSは普及・実用化のセカンドステージへ~

ITS (Intelligent Transport Systems :高度道路交通システム) は、最先端の情報通信技術 (IT) を使って、県民の皆さんの通勤や買い物、旅行の際の「移動」をより安全・快適にするとともに、地球環境に優しい社会を実現しようとするものです。

「カーナビ」や高速道路での「ETC」(ノンストップ自動料金支払いシステム) もその1つですが、ITSは、公共交通を使いやすくしたり、高齢者や障害者をはじめ歩行者の移動を支援するなど、幅広い分野に及び、そのサービス領域はますます拡大しています。

平成16年10月 に開催されたITS世界会議愛知・名古屋2004 では、わが国の先進的なITSが紹介されました。また、17年3月 から9月 まで開催された愛・地球博 (愛知万博) では、ITSが円滑な観客輸送に大きな役割を果たしました。

わが国のITSは、国民の生活・文化に浸透するセカンドステージを迎えており、今後、多くのITSメニューが「研究・開発」から「普及・実用」の段階に移行することが期待されます。

ITSは、現在及びこれからの私たちの生活を支える重要な存在となっています。



## ITSはセカンドステージへ!

国土交通省の提言機関であるスマートウェイ推進会議が平成16年8月に提言した「ITS、セカンドステージへ」では、平成19年(2007年)を目途に、あらゆるゲートのスムーズな通過や、場所やニーズに応じた地域ガイド、タイムリーな走行支援情報の提供などのサービスを1つの車載器 (ITS車載器) で実現することが描かれています。また、わが国のITS関係者が一堂に会した日本ITS推進会議が16年10月にとりまとめた「ITS推進の指針」においても、ITSがセカンドステージに入ったという認識のもとに、今後「安全・安心な社会」、「環境にやさしく効率的な社会」、「利便性が高く快適な社会」の実現を目指していくとされています。

このように、ITSは、今後も、国の重要な施策としての推進が期待されます。

